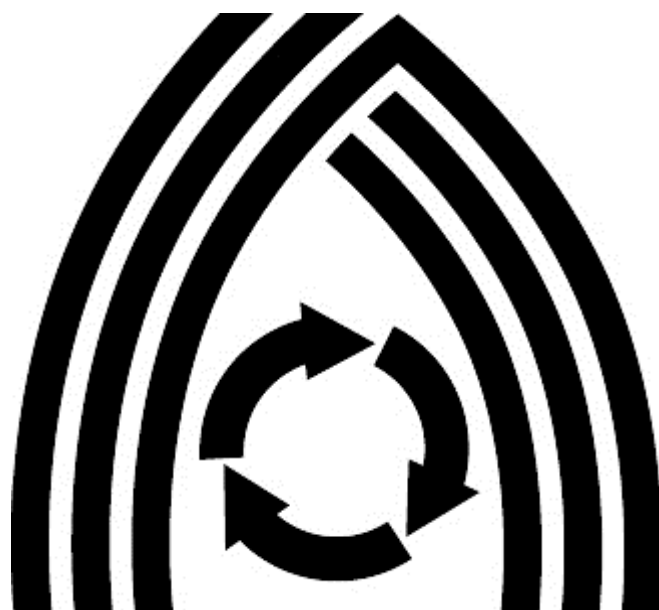


第1回厚木愛甲環境施設組合 事業報告会

日 時	平成29年6月25日（日） 午後2時から午後3時30分まで
場 所	厚木市環境センター2階会議室



厚木愛甲環境施設組合

第1回厚木愛甲環境施設組合事業報告会 次第

日 時 平成29年6月25日(日)
午後2時から午後3時30分まで
場 所 厚木市環境センター2階会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報告内容

- (1) ごみ中間処理施設整備事業の概要について
- (2) 事業区域の嵩上げについて
- (3) 環境アセスメントの調査状況について

4. 厚木市環境センター焼却施設の見学

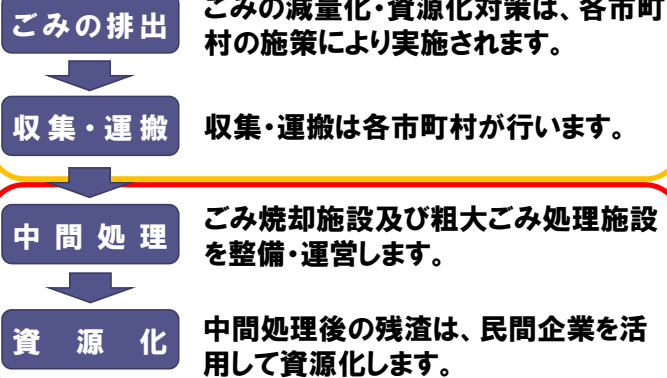
5. 解 散

(1) ごみ中間処理施設整備事業の概要について

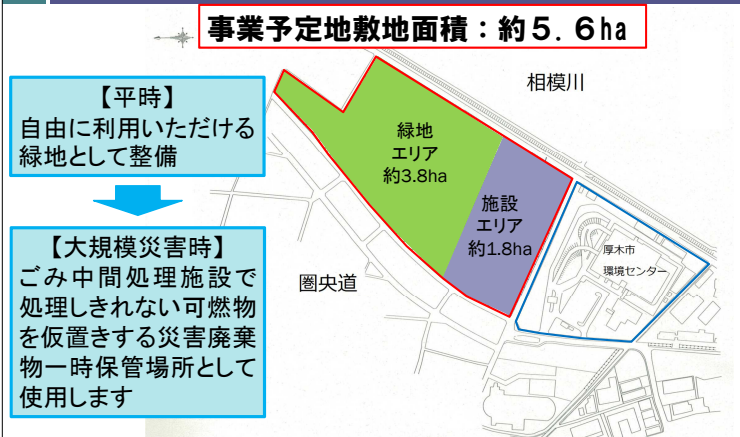
厚木愛甲環境施設組合とは

- ◆ 一般廃棄物(ごみ)の共同処理を目的として、組合の構成市町村(厚木市、愛川町及び清川村)により平成16年4月に設置された一部事務組合です。
- ◆ 一部事務組合とは、地方自治法で規定された特別地方公共団体です。
- ◆ 当組合は、構成市町村と連携しながらごみ処理施設の整備を通じて循環型社会の形成に取り組んでいます。

実施する事業の範囲



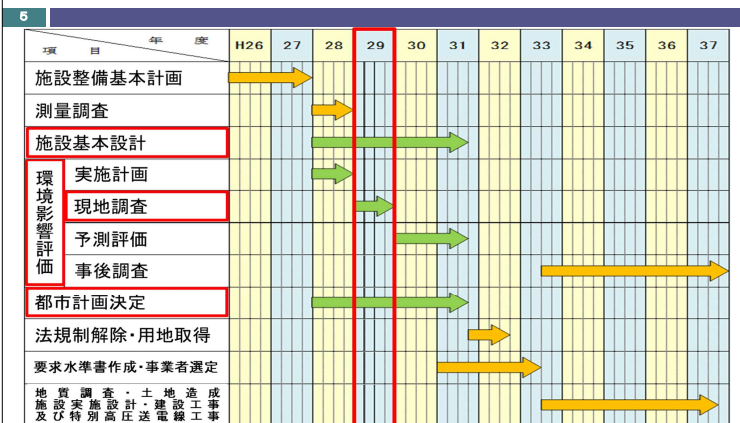
新施設の建設地



新施設と現施設の比較

項目	新ごみ中間処理施設	厚木市環境センター
焼却方式	ストーカ式	流動床焼却炉
焼却能力	273トン/日	327トン/日
粗大ごみ処理量	20トン/日	50トン/日
焼却灰	全量資源化	埋立処分

新施設の整備スケジュール



(2) 事業区域の嵩上げについて

目次

1. 廃棄物処理施設の整備方針
2. 建設予定地の嵩上げについて
3. 氾濫シミュレーションの実施
4. 嵩上げ前後での浸水深の比較
(シミュレーション結果)
5. まとめ(嵩上げによる安全性の向上について)

1. 廃棄物処理施設の整備方針

廃棄物処理施設整備計画に基づく浸水対策

「廃棄物処理施設整備計画」(平成25年5月閣議決定)

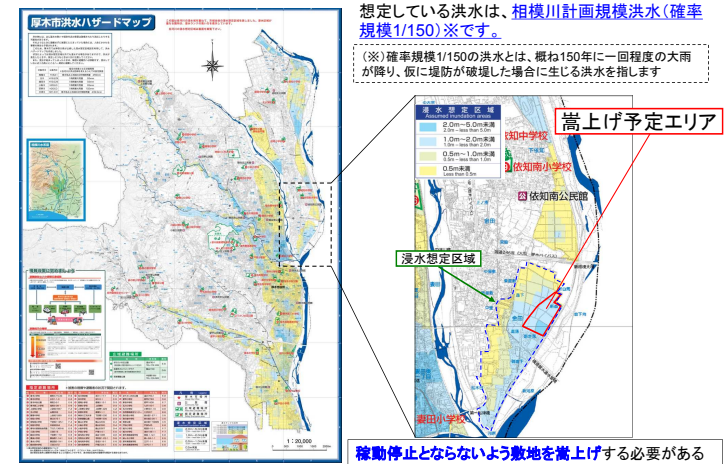
「地域の核となる廃棄物処理施設においては、地震や水害によって稼働不能とならないよう、施設の耐震化、地盤改良、浸水対策等を推進し、廃棄物処理システムとしての強靱性を確保する。これにより、地域の防災拠点として、特に焼却施設については、大規模災害時にも稼働を確保することにより、電力供給や熱供給等の役割も期待できる」



地域の防災拠点となる新ごみ中間処理施設は、大規模洪水時にも水没等により稼働停止とならないよう敷地を嵩上げする必要があります。

1. 廃棄物処理施設の整備方針

厚木市洪水ハザードマップ(浸水想定区域)

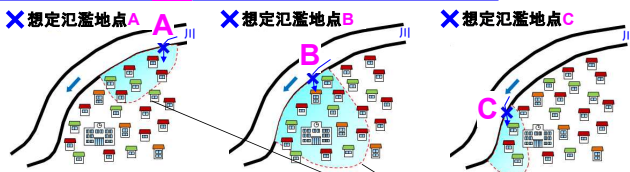


1. 廃棄物処理施設の整備方針

洪水浸水想定区域図とは

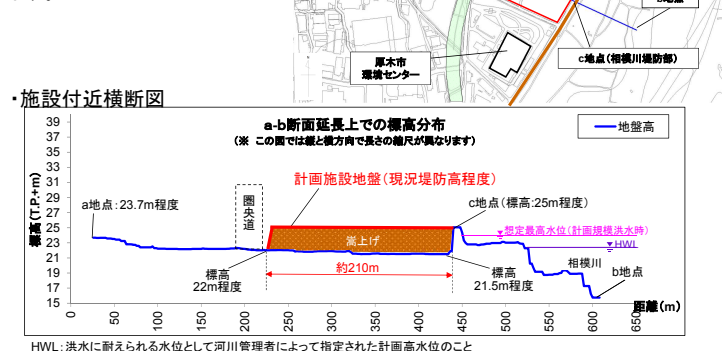
洪水浸水想定区域図とは、『仮に』想定する全箇所での堤防が破壊し氾濫した場合に想定される浸水区域(リスクの有る区域)を包摂した(重ね合わせた)区域です。

●複数の想定氾濫地点(A~C)全てで独立して浸水シミュレーションを実施



2. 建設予定地の嵩上げについて

・ごみ中間処理施設および緑地を厚木市金田地区(右図の赤枠エリア)に建設するにあたり、隣接する相模川現況堤防高度まで地盤の嵩上げを予定しています。



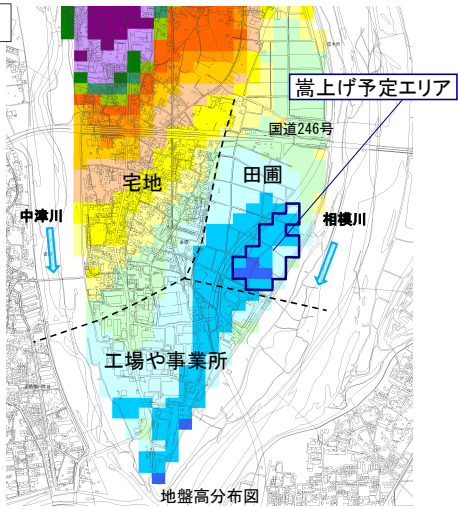
2. 建設予定地の嵩上げについて

金田地区周辺の地盤高

・宅地側は地盤が高くなっており、嵩上げ予定地周辺が一番低い地形である。

凡例

地盤高	
21.0m未満	30.0m ~ 32.0m
21.0m ~ 22.0m	32.0m ~ 34.0m
22.0m ~ 23.0m	34.0m ~ 36.0m
23.0m ~ 24.0m	36.0m ~ 38.0m
24.0m ~ 25.0m	38.0m ~ 40.0m
25.0m ~ 26.0m	40.0m ~ 45.0m
26.0m ~ 27.0m	45.0m ~ 50.0m
27.0m ~ 28.0m	50.0m以上
28.0m ~ 29.0m	
29.0m ~ 30.0m	



地盤高分布図

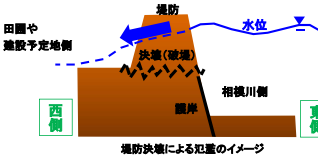
3. 氾濫シミュレーションの実施

(1) 目的

・仮に相模川の堤防が破堤(堤防決壊)し、川の水が氾濫した場合に、建設予定地の嵩上げ後の浸水域への影響について、

嵩上げ前後で氾濫シミュレーションを実施し(浸水想定区域図の作成)、想定される浸水状況を確認しました。

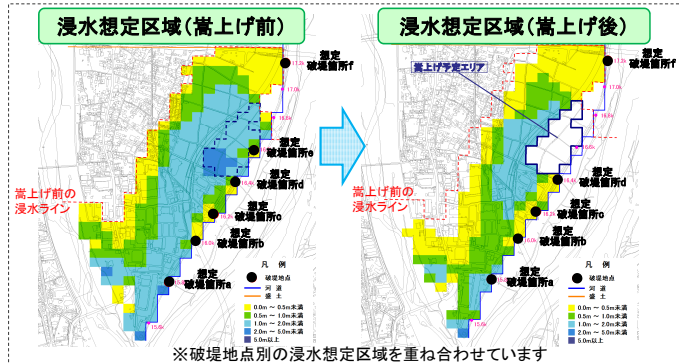
氾濫した川の水は水位より低い地域に流れ込みます。



金田地区周辺図

4. 嵩上げ前後での浸水深の比較(シミュレーション結果)

嵩上げ後は嵩上げ前に比べ、浸水が想定されるエリア(リスクのあるエリア)は小さく、想定浸水深が浅くなります。



※破堤地点別の浸水想定区域を重ね合わせています

この理由は、この地区周辺で最も浸水域が広がる・深くなるリスクがあったのが地点eでしたが、建設予定地全体の嵩上げにより、この地点eについては破堤を想定する必要がなくなったためです。

5. まとめ(嵩上げによる安全性の向上について)

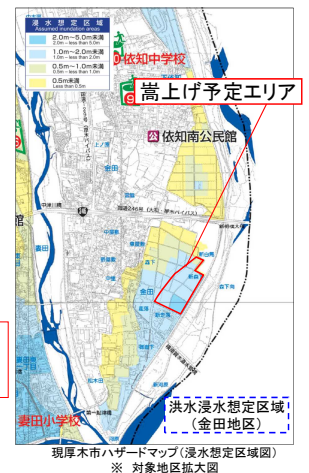
・現状の嵩上げ予定地は、金田地区で最も地盤が低い箇所です。

・仮に、嵩上げ予定地付近で決壊した場合には、洪水時の水位と現状地盤高の差があり、断面が大きくなるため、川から氾濫する水の量が他の破堤点より大きくなります。

・すなわち、金田地区では、この建設予定地付近の破堤に最も浸水リスクがあったが、

嵩上げ

・今回の予定地全体を嵩上げすることで、破堤リスクが低減され、金田地区全体の破堤による浸水リスクが軽減される(安全性の向上)。



現厚木市ハザードマップ(浸水想定区域図) ※ 対象地区拡大図

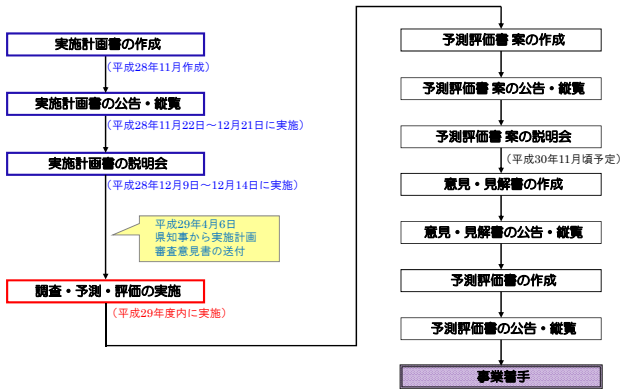
(3) 環境アセスメントの調査状況について



環境アセスメントとは

一定規模以上の開発事業を行う場合、周辺環境に及ぼす影響について、事業者自らが事前に調査・予測・評価を行い、その結果を公表して、住民、事業者、行政がそれぞれ意見を出し合い、事業計画を環境保全上の見地からより良いものとしていこうとする制度です。

環境アセスメント 手順の流れ



(3) 環境アセスメントの調査状況について (春季調査結果)



説明内容

- ① 大気質・地上気象調査結果
- ② 上層気象調査結果
- ③ 植物調査結果
- ④ 動物調査結果
- ⑤ 水生生物調査結果
- ⑥ 地下水位調査結果
- ⑦ 今後の調査スケジュール

① 大気質・地上気象調査結果

●調査概要

項目	時期等
環境大気	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物(一酸化窒素、二酸化窒素)、ダイオキシン類、微小粒子状物質、塩化水素、降下ばいじん、重金属類(水銀、鉛、カドミウム)、地上気象 平成29年4月19日(水)～25日(火) ※降下ばいじん 平成29年4月1日(土)～5月1日(月)
沿道大気	浮遊粒子状物質、窒素酸化物(一酸化窒素、二酸化窒素) ※実施区域の地上気象は1年間



① 大気質・地上気象調査結果

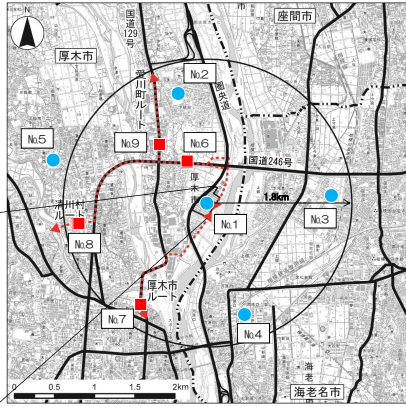
●調査地点

凡例

● 環境大気・地上気象調査地点

■ 沿道大気調査地点

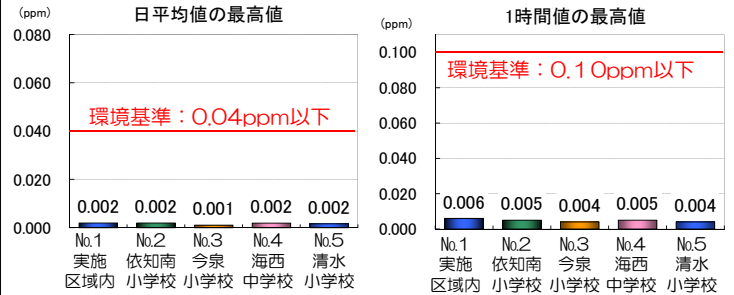
↔ 主な走行ルート



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 二酸化硫黄

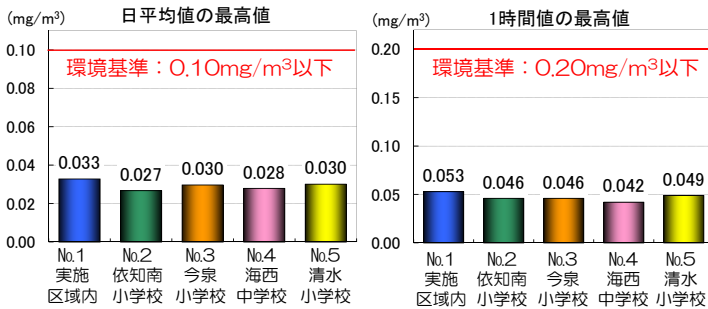
全ての地点で環境基準を満足していました。



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 浮遊粒子状物質

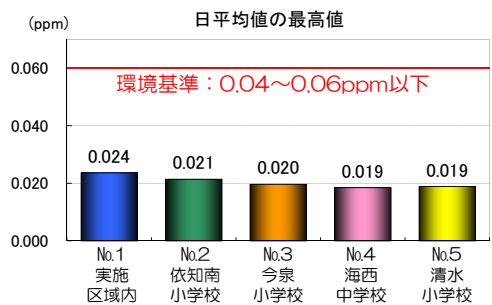
全ての地点で環境基準を満足していました。



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 二酸化窒素

全ての地点で環境基準を満足していました。



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 ダイオキシン類

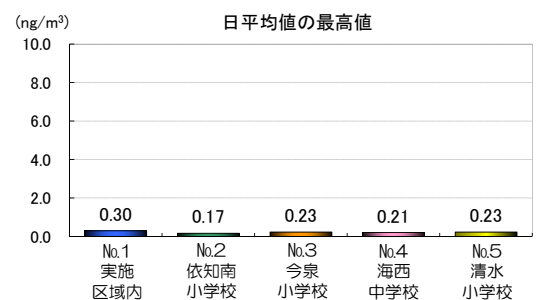
全ての地点で環境基準を満足していました。



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 カドミウム

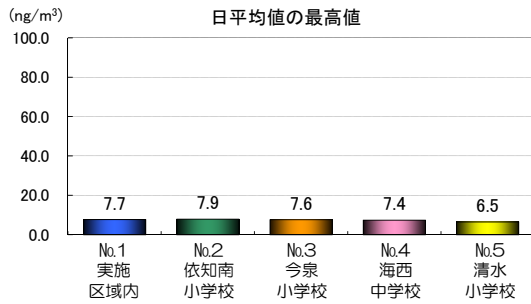
各地点で0.17～0.30 ng/m³でした。



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 鉛

各地点で6.5～7.9 ng/m³でした。

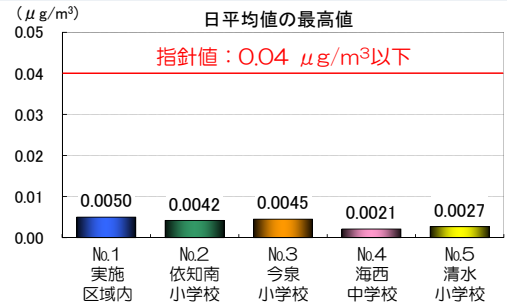


12

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 水銀

全ての地点で指針値を満足していました。



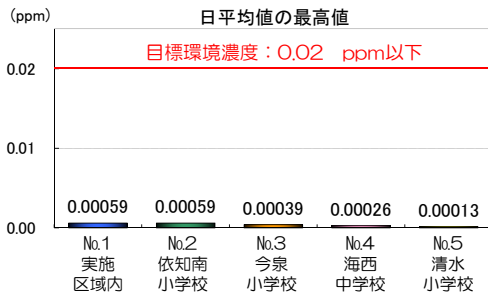
※指針値：中央環境審議会「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について」に示された値

13

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 塩化水素

全ての地点で目標環境濃度を満足していました。



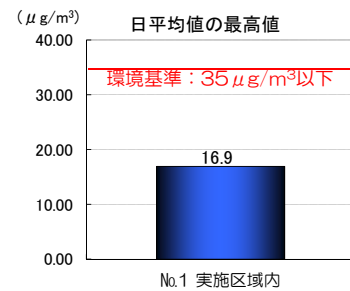
※目標環境濃度：環境庁大気保全局長通達に示された値

14

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 微小粒子状物質 (PM2.5)

実施区域内で環境基準を満足していました。

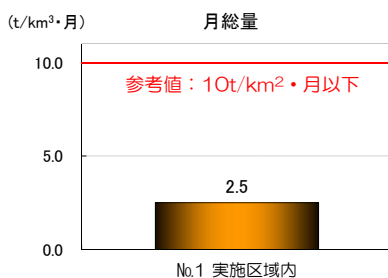


15

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 降下ばいじん

実施区域内で参考値を満足していました。



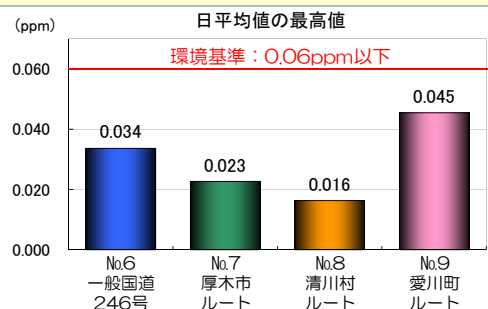
※参考値：道路環境影響評価の技術手法に示された参考値

16

① 大気質・地上気象調査結果

●沿道大気 二酸化窒素

全ての地点で環境基準を満足していました。

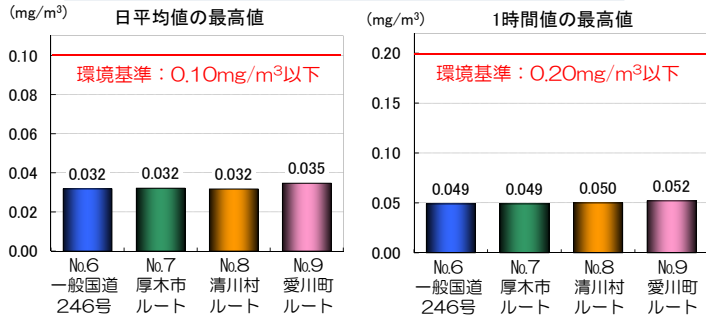


17

① 大気質・地上気象調査結果

●沿道大気 浮遊粒子状物質

全ての地点で環境基準を満足していました。



18

① 大気質・地上気象調査結果（参考）

●環境基準等について

●環境基準は、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで「維持されることが望ましい基準」で、行政上の目標値です。
大気質の他に、水質、土壌、騒音、ダイオキシン類について定められています。

●排ガスの排出基準や排水基準、騒音等の規制基準は関係法令で定められた「守らなければならない基準」で超過した場合は、行政から改善命令等が行われることになります。

19

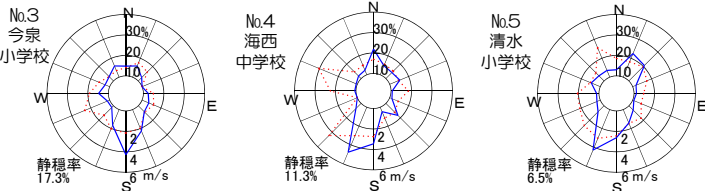
① 大気質・地上気象調査結果

●地上気象 風配図

全体的に、南よりの風が多くみられました。

— : 風向頻度
- - - : 平均風速

※静穏：0.4m/s以下



20

② 上層気象調査結果

●調査概要

項目	調査日
上層気象(気温、風速等)	平成29年4月15日、16日、22日、23日、29日、30日、5月7日 各日3時間ごとに放球（計8回放球）

●上層気象調査について

- ・上空1.5kmまでの気温の分布や風向・風速を観測します。
- ・煙突から出る排ガスの流れと薄まり方(大気拡散)を把握するために実施します。

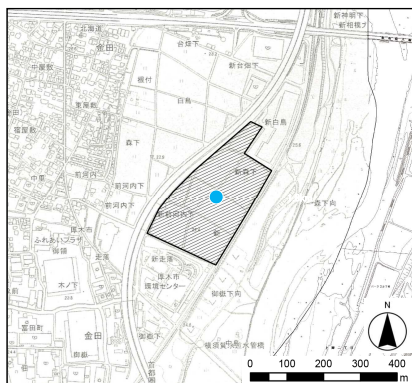


21

② 上層気象調査結果

●調査地点

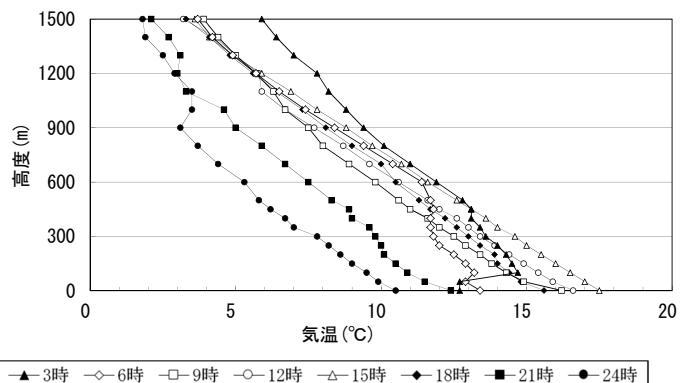
- 凡例
● 上層気象調査地点



22

② 上層気象調査結果

●調査結果（例：4月30日）



23

③ 植物調査結果

項目	調査日
植物調査	早春季：平成29年3月29日～30日 春季：平成29年5月8日～9日

●植物調査について

どのような植物が生育しているか調べることを目的として実施しています。



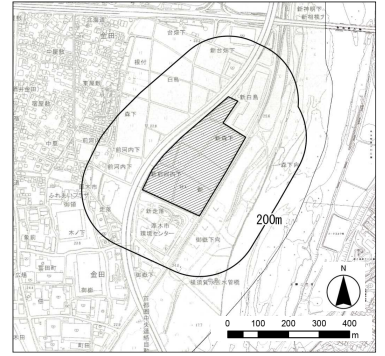
植物調査

③ 植物調査結果

●調査地点

凡例

○ 植物調査範囲



③ 植物調査結果

●調査結果（確認種）

早春季に155種、春季に215種の植物の生育を確認しました。

分類	季節				
	早春季		春季		
	科数	種数	科数	種数	
シダ植物	1	1	2	3	
裸子植物	2	3	1	2	
種子植物	離弁花類	26	67	33	106
	合弁花類	12	47	16	61
	単子葉植物	6	37	8	43
合計	47	155	60	215	

③ 植物調査結果

●調査結果（重要な植物）

実施区域外にて、重要な植物のミゾコウジュ、カワチシャの2種の生育を確認しました。

分類	重要な種の確認位置	
	実施区域内	実施区域外
植物	(確認なし)	ミゾコウジュ、カワチシャ

③ 植物調査結果

●調査結果 (主な植物)



チガヤ(一般種・実施区域内外)

③ 植物調査結果

●調査結果 (主な植物)



ミゾコウジュ(重要種・実施区域外)

③ 植物調査結果

●調査結果 (主な植物)



カワチシャ(重要種・実施区域外)

30

③ 植物調査結果

●調査結果 (主な植物)



オオカワチシャ(外来種・実施区域外)

31

③ 植物調査結果

●調査結果 (主な植物)



ハリエンジュ(別名ニセアカシア)(外来種・実施区域外)

32

④ 動物調査結果

項目	調査日
哺乳類調査	春季 : 平成29年5月8日～9日
鳥類調査	春季 : 平成29年5月8日～9日
両生類調査	早春季 : 平成29年3月29日～30日 春季 : 平成29年5月8日～9日
昆虫類調査	早春季 : 平成29年3月29日～30日 春季 : 平成29年5月8日～9日

33

④ 動物調査結果

●動物調査について

どのような動物が生息しているか調べ
ることを目的として実施しています。

哺乳類調査



鳥類調査



両生類調査



昆虫類調査

34

④ 動物調査結果

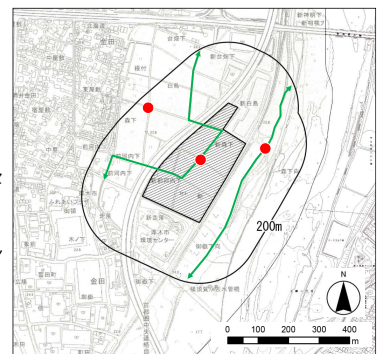
●調査地点

凡例

○ 動物調査範囲

● 動物調査地点
(哺乳類トラップ、鳥類定点センサス、昆虫類トラップ)

←→ 動物調査地点(鳥類ルートセンサスのルート)



35

④ 動物調査結果

●調査結果（確認種）

哺乳類は春季に3種、鳥類は春季に46種、
両生類は早春季に2種、春季に3種、
昆虫類は早春季に69種、春季に241種の生息を確認しました。

分類	季節			
	早春季		春季	
	科数	種数	科数	種数
哺乳類	—	—	3	3
鳥類	—	—	31	46
両生類	2	2	3	3
昆虫類	44	69	99	241

36

④ 動物調査結果

●調査結果（重要な種）

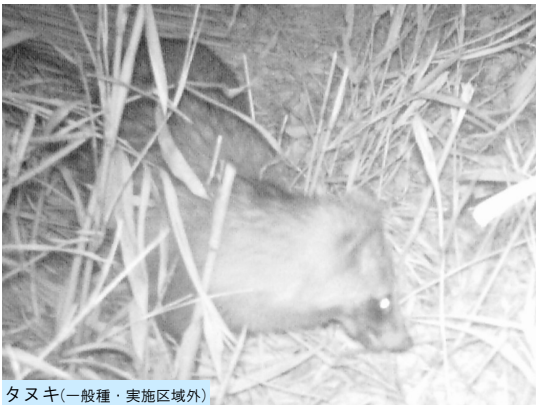
重要な種は、主に実施区域外にて生息を確認しました。

分類	重要な種の確認位置	
	実施区域内	実施区域外
哺乳類	(確認なし)	(確認なし)
鳥類	コチドリ、ヒバリ、ツバメ、カワラヒワ	コチドリ、イカルチドリ、イソシギ、モズ、セッカ、セグロセキレイ 等
両生類	(確認なし)	トウキョウダルマガエル
昆虫類	(確認なし)	クロイトトンボ、ケラ、アシミゾナガムシ

37

④ 動物調査結果

●調査結果（主な動物）



タヌキ(一般種・実施区域外)

38

④ 動物調査結果

●調査結果（主な動物）



キジバト(一般種・実施区域内)

39

④ 動物調査結果

●調査結果（主な動物）



コチドリ(重要種・実施区域内外)

40

④ 動物調査結果

●調査結果（主な動物）



トビ(一般種・実施区域内外)

41

④ 動物調査結果

●調査結果
(主な動物)



ムクドリ(一般種・実施区域内外)

42

④ 動物調査結果

●調査結果
(主な動物)



カワラヒワ(重要種・実施区域内外)

43

④ 動物調査結果

●調査結果
(主な動物)



ニホンアマガエル(一般種・実施区域内外)

44

④ 動物調査結果

●調査結果
(主な動物)



トウキョウダルマガエル(重要種・実施区域外)

45

④ 動物調査結果

●調査結果
(主な動物)

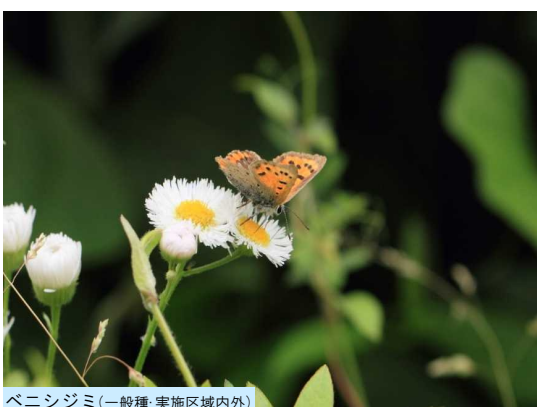


クロイトトンボ(重要種・実施区域外)

46

④ 動物調査結果

●調査結果
(主な動物)



ベニシジミ(一般種・実施区域内外)

47

④ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



ナナホシテントウ(一般種・実施区域内外)

48

④ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



ケラ(重要種・実施区域外)

49

⑤ 水生生物調査結果

項目	調査日
魚類調査	春季 : 平成29年5月8日～9日
ベントス(底生動物)調査	早春季 : 平成29年3月29日～30日

水生生物調査



50

●水生生物調査について

水中にどのような生物が生息しているか調べることを目的として実施しています。

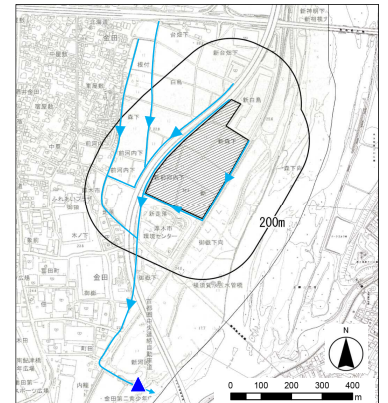
⑤ 水生生物調査結果

●調査地点

凡例

▲ 水生生物調査地点

→ 放水路



51

⑤ 水生生物調査結果

●調査結果(確認種)

魚類は春季に6種、ベントス(底生動物)は早春季に27種の生息を確認しました。

分類	季節			
	早春季		春季	
	科数	種数	科数	種数
魚類	—	—	5	6
ベントス(底生動物)	21	27	—	—

52

⑤ 水生生物調査結果

●調査結果(重要な種)

重要な魚類として、アブラハヤ、ドジョウ、ナマズの3種
重要な底生動物として、ハグロトンボの生息を確認しました。

分類	重要な種の確認位置
	放水路
魚類	アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ
ベントス(底生動物)	ハグロトンボ

53

⑤ 水生生物調査結果

●調査結果
(主な水生生物)



カワムツ(一般種)

54

⑤ 水生生物調査結果

●調査結果
(主な水生生物)



アブラハヤ(重要種)

55

⑤ 水生生物調査結果

●調査結果
(主な水生生物)



ヌマチチブ(一般種)

56

⑤ 水生生物調査結果

●調査結果
(主な水生生物)



モクスガニ(一般種)

57

⑥ 地下水位調査結果

項目	調査日
地下水位調査	通年(平成29年4月1日~平成30年3月31日) ※5月末までの結果を整理

●地下水位について

実施区域内の地下水の状況を把握することを目的に実施しています。



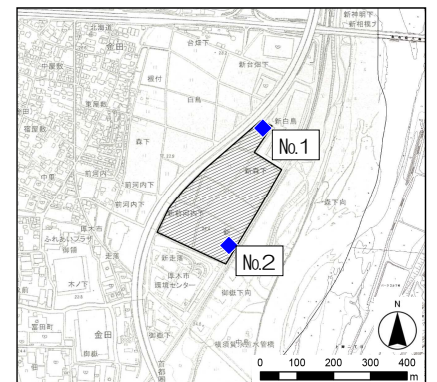
地下水位観測井戸

58

⑥ 地下水位調査結果

●調査地点

凡例
◆ 地下水位調査

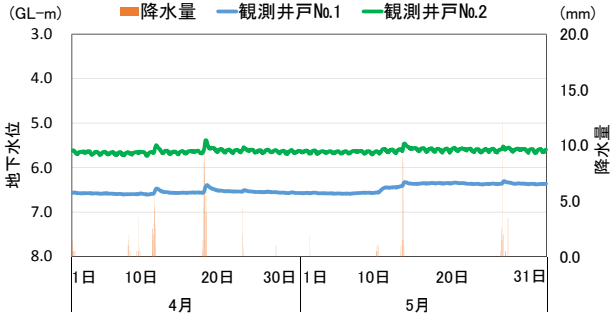


59

⑥ 地下水位調査結果

●地下水位の推移

地下水位は、各地点では横ばい傾向でした。



60

⑦ 今後の調査スケジュール

項目	平成29年												平成30年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
① 大気汚染(気象+大気質)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
② 水質汚濁	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
③ 土壌汚染																		
④ 騒音・低周波音、⑤ 振動																		
⑥ 地盤沈下、⑦ 水象(地下水)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑧ 悪臭																		
⑨ 電波障害																		
⑩ 植物	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑪ 動物、⑫ 水生生物	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑬ 生態系	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑭ 景観																		
⑮ レクリエーション資源																		
⑯ 安全(交通)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

61

